指導者 池野 那穂子 ALT Emmelinda Shinotsuka

- 1 単 元 Unit 3 Fair Trade Chocolate 2 目 標
 - 経験・完了を表す現在完了形の文の形・意味・用法に興味をもち、積極的にコミュニケーションしようとしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
 - 現在完了形を用いて、友達の経験を聞いたり、自分の経験を話したり、書いたりすることができる。 (外国語表現の能力)
 - 不定詞の副詞的用法の文の形・意味・用法を理解し、適切に使うことができる。 (外国語理解の能力)
 - 現在完了形や不定詞の用法において、適切に動詞を用いることができる。 (言語や文化についての知識・理解)
- 3 単元について
- (1) 教材観

この単元では、現在完了形の経験的用法と完了用法、不定詞の形容詞的用法について学習をする。特に現在完了形においては、同じ文の構造でありながら日本語としての訳し方が異なるなど、理解し難い面があったり、不規則動詞の過去分詞形を習得するが困難だったりする。しかしその一方で、自分のこれまでの経験や動作の完了を表すことができ、表現の幅を広げることができる単元と考える。また、Fair Trade という貿易のしくみやガーナの少女からの手紙を通して、私たちの生活がいかに恵まれたものであるか、今自分にできることは何かを深く考えることができる単元である。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒は、英語の授業に意欲的に取り組んでいる。新しい表現を積極的に読んだり、書いたりすることで習得しようとしている。週末の単語練習やスペリングコンテストへの取り組みを通して、語彙力を増やそうと努めている生徒も多い。しかし、習得した表現を用いて、自らの体験や考えなどと結びつけて活用するという点において、さらなる指導の充実が必要である。例えば、以下のような既習の現在完了形の継続的用法の問題に対して、正しく解くことができる生徒が多い反面、生徒自身がずっと継続的にしてきたことを表現する場合には、正答率が下がる。学習した表現を用いて、自分自身の経験を表現する活動を設け、表現する喜びを感じられるような指導の充実が必要である。

○実態調査

(男*人,女*人 計*人 *月*日調べ)

1 現在完了形(継続)

I have used this pen for three . (「3年間ずっと野球をしてきた」という意味の英文にかえなさい)

- ○正答 I have played baseball for three years. *名
- ○誤答·無答 *A
- 2 あなたがこれまでに継続してやってきたことを,現在完了形(継続)を使って 英文にしなさい。
 - ○正答 I have played bastketball for five years.など *名
 - ○誤答 I studied English for three years. など * 名
 - ○無答 *名
- (3) 指導観

4技能の総合的な育成を目指し、文型指導をした表現を使って効果的なコミュニケーション活動で定着させたいと考える。本時では、第1時で学習した現在完了形の経験的用法の表現を活用し、クラスの統計グラフをつくるために、お互いの経験をたずね合う活動を取り入れる。読んだり、聞いたりして文の構造や意味を理解できた表現を用い、実際に相手の経験を聞いたり、自分の経験を話したりすることを通して、基本文を確実に身に付けさせたいと考える。さらに、インタビューを基にして友達の経験をグラフに表すという目的を明確にし、生徒の意欲を高め、4技能の総合的な育成を図っていきたい。

4 指導計画(5時間取り扱い)

第1次 現在完了形(経験)…2時時 第2次 現在完了形(完了)…1時間 第3次 不定詞(副詞的用法)と復習…2時間

観点別評価規準 次 時 主な学習内容 1 現在完了形(経験)の形・意 ールに興味をもち、内容を理 味・用法を理解する。 としている。 (関・意・態) 1 現在完了形(経験)を用いて 友達に正しく質問したり、答えたりす ることができる。またその結果をグラフや英文にすることができる。(表現) 自分の経験や相手の経験を表 (本時) 現する。 新出表現や内容を理解することができる。 (知識・理解) 現在完了形(完了)の形・意 3 2 味・用法を理解する 不定詞 (副詞的用法) 新出表現や内容を理解することができ 意味・用法を理解する (知識·理解) 4 3 それぞれの用法で動詞を正しい形で使 5 現在完了形や不定詞におい ,動詞を適切な形で用いる 用することができる。 (言語文化)

5	本	眛	\mathcal{O}	学	漝
0	/T*		v /		

目標 (1)

(4) 展 開

- 現在完了形(経験)を使って経験を質問したり答えたりする。また質問の結 果をグラフや英文にすることができる。
- (2)準備・資料

動詞カード、インタビューシート、グラフ作成シート、実物投影機

努力事項との関連 (学校教育指導方針) (3)

努力事項	具現化のための取組			
○努力事項2 4技能を総合的に育成	・「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た知			
する指導の充実	識などについて、自らの体験や考えなどと結び			
	つけて活用し,「話すこと」や「書くこと」を			
	通じて発信することが可能となるような4技能			
	を総合的に育成する指導の充実			

学習内容及び活動 1 **Greeting** (挨拶) **Warm-up** (ウォームアップ) **Knowing Target** (ねらいを知る) 友達の経験をインタビューして, グラフをつくりプレゼンテーショ

- 3 Interview and Writing(インタビュー)
- (1) Review the expressions (表現の復習)
- (2) Writing of group's question (グループの質問を書く)
- (3) Interviewing (インタビュー)
 - A: Excuse me. Have you ever \sim ?
 - B: Yes, I have. / No, I have never \sim
 - A: Thank you very much.
 B: You're welcome.
- (4) Showing the result in graphs and **sentences** (グラフと英文を書く)

Have you ever ∼?

Yes O students No O students

- O students have ~
- O students have never ~
- (5) Practice for the presentation (発表への準備)

指導と評価

JTE 生徒の意識を英語学 習へと向ける。

- 音読が苦手な生徒を 支援する。
- ALT 元気な挨拶をする。 Warm-up の説明をす
- る。
- 詞を する。 ・動詞カードを使い、 現在完了形の文を復 習させる。 グルースを ・生徒とともに動詞を 基に英文を発音する。
- ・ 例を挙げながら, で使用する経験をたずねる英文を考えさせ
- ・質問ができない生徒の支援をする。
- Yes. No. だけではなく、Yes, I have. や No, I've never ~.と答えるように伝える。
 ・分担をして時間内に全員に質問するように伝
- える。 ・結果を基に何人の生 徒がその経験がある かをグラフに表させ る。
- ・グラフだけではな く, プレゼンテーションをする際の英文 づくりを支援する。
- グラフや英文に間違いがないかどうかの 確認をさせる。
- ・プレゼンテーション の例を見せて,評価 のポイントを示す。
- (評) 経験を質問したり、答えたりする表現を理 経験を質問したッ, ったこ 解し, 正しく書くことができたか。 【ワークシート】

4 Conclusion (まとめ)

・本時の反省と次時のプレゼンテーションに向 けて練習を重ねるよう伝える

(5) 板書計画

winday, June, eighteenth, sunny 本時の課題	インタビューの対話
Have you ever 過去分詞?	
あなたは今までに~したことがありますか	Yes, I have. [15students] No, I've never
<u>動詞カード</u>	\sim (5students)
	15 students have been to Ginkaku-ji temple.
	5 students have never been to Ginkaku-ji temple.